

## 令和8年度 第1回 京田辺市立図書館協議会 会議要旨

### 1 会議概要

#### 議題

- (1) 令和7年度図書館利用状況について
- (2) 令和8年度図書館事業計画について
- (3) 令和8年度当初予算の概略について
- (4) 京田辺市立図書館蔵書計画（案）について
- (5) 図書館運営手法に関するサウンディング調査について
- (6) 第3次京田辺市子ども読書活動推進計画について
- (7) 京田辺市立図書館サービスアクションプランについて

### 2 議事要旨

#### (1) 開会

社会教育委員より選出されている委員の交代により、奥西委員へ委嘱状を交付。（任期：令和8年4月17日～令和9年8月24日）

#### (2) 事務局・委員自己紹介

#### (3) 会長あいさつ

#### (4) 議事

##### ①令和7年度および令和8年度の利用状況について

###### (事務局)

令和7年度の貸出実績は、前年比で約3万冊の減少。原因としては、配置換え等による影響もあるかと考えられる。

###### (委員)

全国的な傾向（年2～3%減）と概ね一致している。令和8年度の4月の貸出実績も減少しているが、「新しいこと」また「何をすべきなのか」等、今後の対応を含め検討していく必要がある。

##### ②令和8年度図書館事業計画について

###### (事務局)

毎年実施している小学校の図書館見学の受付が始まっており、5校6クラスから申し出があった。田辺中学校社会科の授業で使用する映像資料の製作に関する協力依頼。図書館資料を利用しての調べ物のメリットやインターネットでの検索との違い等、図書館利用に関する質疑も併せて行った。

(委員)

デジタル資料ではなく図書館資料を利用するメリットは、基本に「本があって」「人がいて」という状況があってこそこの話である。できることならば、専門家(司書)が選書を行い、その選書された資料(蔵書)がその図書館においてしっかりカスタマイズされて、利用されるというところが、図書館の良さであるという話をしたい。

### ③令和8年度当初予算の概略について

(事務局)

予算総額は8,487万円で、前年度比約431万円の減。空調機の修繕費が263万増加した。派遣職員が5名から3名に変更されたことを受け派遣委託料が削減された。図書購入費は昨年同様1,800万円を確保。

(委員)

委託料が随分と減っているが、影響はないのか。

(事務局)

派遣職員で賄っていた司書の人数が5名から3名に減ったが、削減分は会計年度任用職員として補填するため、サービスには影響しない。

### ④京田辺市立図書館蔵書計画(案)について

(事務局)

現在のところまだ渡せる資料はないが、来年度予算に反映できるように策定を進めている。アクションプランに沿ったものを作っているが、電子書籍の取り扱いや郷土資料のデジタル移行についての方針も策定していかなければならないと考えている。蔵書の構成比と貸出比率などの数字を見ていっているが、今後は年齢別でどういう貸出比率になっているのかも見て、細かく深く分析していきたい。アクションプランでの課題に対しての分析も一緒に行っていきたいと考える。

(委員)

蔵書計画は、まず図書館基本計画があり、アクションプランを受けて目的に応じて策定されなければならない。分析・評価を行ってから計画を決めていくのが本来の形であるため、まず予算要求に当たって、蔵書計画が必要というのであれば、一足飛びに計画を策定するのではなく、暫定版をつくり来年度以降にこれを変えていくという形をとるという方法もある。デジタル資料を導入する場合、デジタルと紙媒体の両方の予算を確保しないと、利用者の満足度が下がるという調査結果が出ているため、市が予算を確保できるのかで蔵書計画の立

て方自身が変わってくる。今現在、資料を借りていない人たちに向けては、何を提供していくのかという部分も含めて市としての方向性を検討し、その結果を協議していく必要がある。

(委員)

ヤングアダルトコーナーはどうしていくのか。

(事務局)

ヤングアダルトコーナーのことも考えていかねばならないが、資料をどう選定していくのが難しい。

(委員)

児童書と一般書から資料を一部持ってきて、棚を作っているところも多いが、結局複本を買わねばならない状況になってしまう。その場合、片方を電子図書にすると値段が倍ではすまなくなる。複本に対する考え方も含め、蔵書計画のプランを立案してもらいたい。

#### ⑤その他（京田辺市図書館の運営手法について）

(事務局)

令和16年度に開館予定の複合型公共施設に統合を見据え、民間活力導入可能性調査となる「サウンディング調査」を7月から実施する。令和9年3月末に調査報告書提出。令和9年度以降に、調査結果をもとに運営手法を決定。

(委員)

以前、市が視察に行かれた神戸市西区図書館は、直営図書館の神戸市立中央図書館の分館となっている。分館のサービスを指定管理する話とヘッドクォーター（本部）機能を指定管理するという話は、分けて考える必要がある。また、指定管理料金についても調査が必要である。現在、料金高騰の傾向が続いており、実際問題として他の業者が応募できないという状況が予想される。料金の値上がりは最初の時点のサービスしかできないということでもある。指定管理業者が自前で館長を育てていかねばならなくなっているという状況も含めて、将来的な展望を踏まえての調査が望まれる。日本では、図書館とは本を貸してくれるところというイメージが定着している。指定管理を導入する場合、図書館に対しての新しいイメージが発達しにくい現状がある。旧来型の図書館サービスというものを行った方が利用者の満足度が高いというアンケート結果からも、将来的な図書館像をというものを含めて、サウンディング調査の業者に伝えていかなければならない。

(委員)

図書館というのは「本があって人がいて」だとは思いますが、自分が行っている分室は高齢者の方もたくさん利用しておられる。司書の顔を見るだけでも行きたいというような方が周りにおられるが、本も大事だが、やはり「人がいる」というのを大切にしてほしい。今いる司書のことも大切にしてください。

(委員)

サウンディング調査は、指定管理やPFI等の導入可能性調査で、どちらかというところを前向きに検討するような調査だと考える。しかし、文化施設というものは収益化が難しいと思うので、社会インフラとして守ってほしい。公的な部分も残しましょうという調査になればいいが、どうなるかはわからないため、市の直接の介入は絶対に必要だという考えを調査会社に伝えていければいいかと思う。

(委員)

公共図書館として小学校・中学校の学校図書館との連携も図られてきたと思うが、運営が直営でなくなってもその部分ができるのかということ懸念している。

(委員)

先進地に行かれたという話を聞いたが、市の直営で頑張っている所もあると思うので、そちらの先進の方も見に行っていただきたい。

(委員)

直営の方が多いので、そちらにも行かれると思うが、例えば岡山に行くと色々な図書館が一度に見られる。高梁市でccc、玉野でTRC、瀬戸内で直営を見ることができる。サウンディング調査の方は色々な所に行かれると思うが、市の職員の方も行かれるなら他にも紹介できるので、訊いてください。

(事務局)

直営の良いところも、なるべく取り入れていきたいとは考えている。また情報共有させてもらうのでよろしくお願いします。

⑥第3次子ども読書活動推進計画・アクションプランについて

(事務局)

教育委員会定例会において意見を頂いて、今までのものをコンパクトで見やすい構成にスリム化を図った。本編・概要版の他にパンフレットも作成した。

(委員)

大きな見出しでなくてもいいので、「読書アクセシビリティ」「ダイバーシティ」「A I」等の語句を入れていってはどうか。

(事務局)

アクションプランも三つ折りのパンフレットを作成。本編においても同じような文面のところは少し削り、読書活動と同じくコンパクトな作りになっている。

(委員)

使用するイラストには統一感を持たせ、著作権の権利関係を適切に管理することが重要。

(委員)

カタカナ語や外来語を多用せず、わかりやすい日本語表現を心掛けてほしい。

⑦次回開催予定日について

令和8年7月15日(水) 午前10時30分～

(5) 閉会